

2016年3月期 決算説明会資料

株式会社テリロジー



In collaboration with customer

目次

2016年3月期実績

業績ハイライト	4
損益計算書	5
黒字化に向けた取り組み（実績）	6

部門別実績

テレコム部門	8
エンタープライズ部門	9
グローバルビジネス部門	10
保守サービス部門	11

3年後のテリロジー

3年後のテリロジー	12
-----------	----

今期の見込み

2017年3月期業績見込み	19
---------------	----



2016年3月期 実績

営業利益 26百万円 (238百万円増、前期は▲212百万円)

売上高：大型案件が少なかったことで期初予想に届かず減収

売上高：2,639百万円 (5.9%減 164百万円減)
受注高：1,509百万円 (7.3%減 118百万円減)
受注残高：118百万円 (31.5%増 28百万円増)

(対前年比)

円安はひと段落、継続的な経費の削減活動により
営業利益は前年比で増益

売上総利益 748百万円 (29.7%増 171百万円増)
販売管理費※ 986百万円 (11.1%減 123百万円減)

※売上原価「技術人件費」含む (前期) 320百万円 (今期) 265百万円 55百万円減

営業利益 26百万円 (238百万円増、前期は▲212百万円)

(対前年比)

増益

売上：減少、円安はひと段落、継続的な経費の削減により増益

(単位：百万円)	2015年3月期		2016年3月期	
	金額		金額	増減額 増減率%
売上高	2,804		2,639	△164 △5.9%
売上総利益	売上総利益率 20.6% 577		売上総利益率 28.4% 748	171 29.7%
販売管理費	789		721	△67 △8.6%
営業利益	△212		26	238 —
経常利益	△207		△0	206 —
当期純利益	△211		△19 (注1)	192 —
為替レート (ドル)	119.10円		120.78円	
一株あたり当期純利益	△13円76銭		△1円25銭	

(注1) 投資有価証券減損処理

施策の達成状況

施策	具体策	評価	達成状況の詳細
売上高の季節変動の 平準化と収益力の向上	・ 自社開発製品の高性能キャプチャリングソフトウェアの販売強化 ・ クラウド性能監視サービス事業の立ち上げによりサービスの収益力を高める ・ 既存のクライアントツールビジネスを再生し案件数の増加で収益力の向上	▲	受注活動は概ね堅調に推移するが、大型案件が少なかったことで売上高は減少 ・ momentum製品の販売結果は、前年比228.3%増（約165百万円）と大躍進 ・ クラウド性能監視サービス事業「Cloud Triage」は、予算比10.3%（約7百万円）と低調 ・ CATV事業者を中心としたテレマーケティング活動の結果、前年比191.4%増（約66百万円）で推移
事業の収益改善策について	・ 既存事業の円安影響による販売価格の適正化を図り利益の向上を目指す ・ 社内定価の厳格な運用と値引き管理 ・ マーケティングプロセスの改善による得意先・案件数の増加 ・ 変動する為替相場への適時な対応	▲	円安がひと段落。売上総利益率は、20.6%→28.4%（7.8ポイント増/対前年比）と改善 ・ 為替相場は円安がひと段落。期初予算120.00円→実績120.78円 ・ 営業活動を加速するため、見込み客獲得プロセスの高度化・自動化するインバウンドマーケティング、インサイドセールス機能を追加
生産性向上とコスト削減について	・ K P I 管理の徹底により営業活動と技術工数の生産性を高める ・ 業務委託の見直し、業務内製化による外注費の削減 ・ 固定費等の見直しによる経費削減を徹底	●	販売管理費など -123百万円 11.1%減（対前年比）の削減 ・ 人員減により人件費は低減するが、技術リソースは逼迫傾向 ・ 製品、サービスの絞り込みと営業活動の標準化と可視化へ



部門別実績

売上高：260百万円 対前年比：22百万円増、増減率：9.5%増

マーケット

要因

通信事業者のネットワーク
投資の抑制が継続

スマートフォンの急激な普及に対応した
新しいネットワークの構築や通信サービスが台頭

活動結果

→ 当社独自パケットキャプチャ製品採用が加速

得意分野

ネットワーク
モニタリング

【MVNO向け】

ネットワークモニタリングの追加案件

【電力系/CATV事業者向け】

DNSサーバ攻撃監視案件

→ SDN技術を応用したCohoストレージ製品の初受注

【大手通信事業者のクラウド環境向け】

ストレージ案件

売上高：1,172百万円 対前年比：152百万円減、増減率：11.5%減

要因

マーケット

IT投資 回復基調

円安

景気の回復

受注活動

堅調

大型案件

減少

活動結果

→ 不正送金事件の増加からワンタイムパスワードによる対策強化

主要顧客 大手金融機関

【インターネットバンキング向け】

不正取引防止システムの再構築案件

当社独自

→ パケットキャプチャ製品採用のネットワーク監視案件が増加

【企業ネットワーク向け】

【セキュリティ対策向け】

モニタリング案件

フォレンジック案件

当社独自

→ ITシステム運用監視クラウドサービスが7月にスタート

パナソニックソリューションテクノロジー社のシステム診断サービスに採用

特定の企業や団体を標的

→ サイバー攻撃 引き続き増加傾向 受注活動 増加

入口対策 ネットワーク不正侵入防御セキュリティ商品

出口対策 標的型攻撃対策クラウドサービス採用セキュリティ案件

第三者によるなりすまし防止対策などのセキュリティ案件

主要顧客 大手IT企業

→ IT投資は回復基調

ネットワークのインフラ

テレビ会議システム構築

構築案件

案件

売上高：48百万円 対前年比：15百万円減、増減率：23.8%減

要因

＜アジア・パシフィック地域＞
当社独自パケットキャプチャ製品採用
のネットワーク監視案件に注力



現地システムインテグレータを通じて販売
準備を進めが売上に貢献できず

活動結果

当社独自

→ パケットキャプチャ製品採用のネットワーク監視案件を
台湾の通信事業者から初受注

DNSサーバ攻撃監視案件

→ 国内外の金融・証券企業に向けた受注活動

【外資系保険会社向け】

ネットワークモニタリングの再構築案件

売上高：1,157百万円 対前年比：20百万円減、増減率：1.7%減

要因

高付加価値の保守サービスの
提供に努める

新規案件の受注が伸び悩んだことから
売上高は前年同期を若干減少

活動結果

→ 円安の進行により保守関連経費が上昇

更なる保守業務の内製化
業務委託費の削減

保守サービス部門

▼ 売上高全体の約4割

ストックビジネス

当社の安定的な収益基盤



3年後のテリロジー

売上高50億円/復配の実現に向けて

自社製品をコアとした他社製品とのプロダクトミックス

(自社製品の販売強化・市場拡大)

ネットワークGWからエンドポイントまでをカバーする
セキュリティマネージドサービス

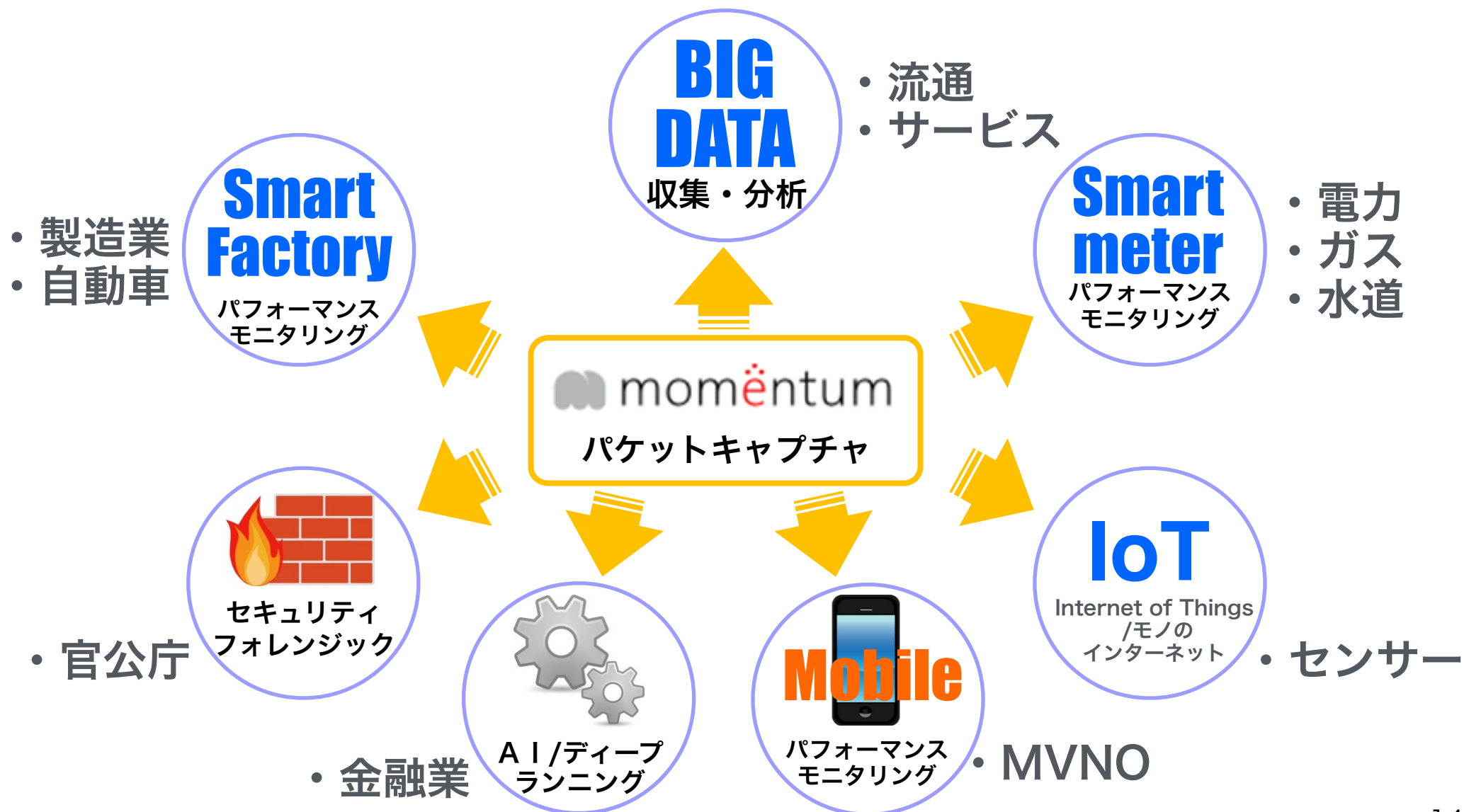
(製品・クラウドサービス：レポートニング/フォレンジックスなど)

成長著しいアジア市場/グローバル市場への展開
～momentum販売強化のパートナーリング戦略～

M&A戦略による事業の拡大

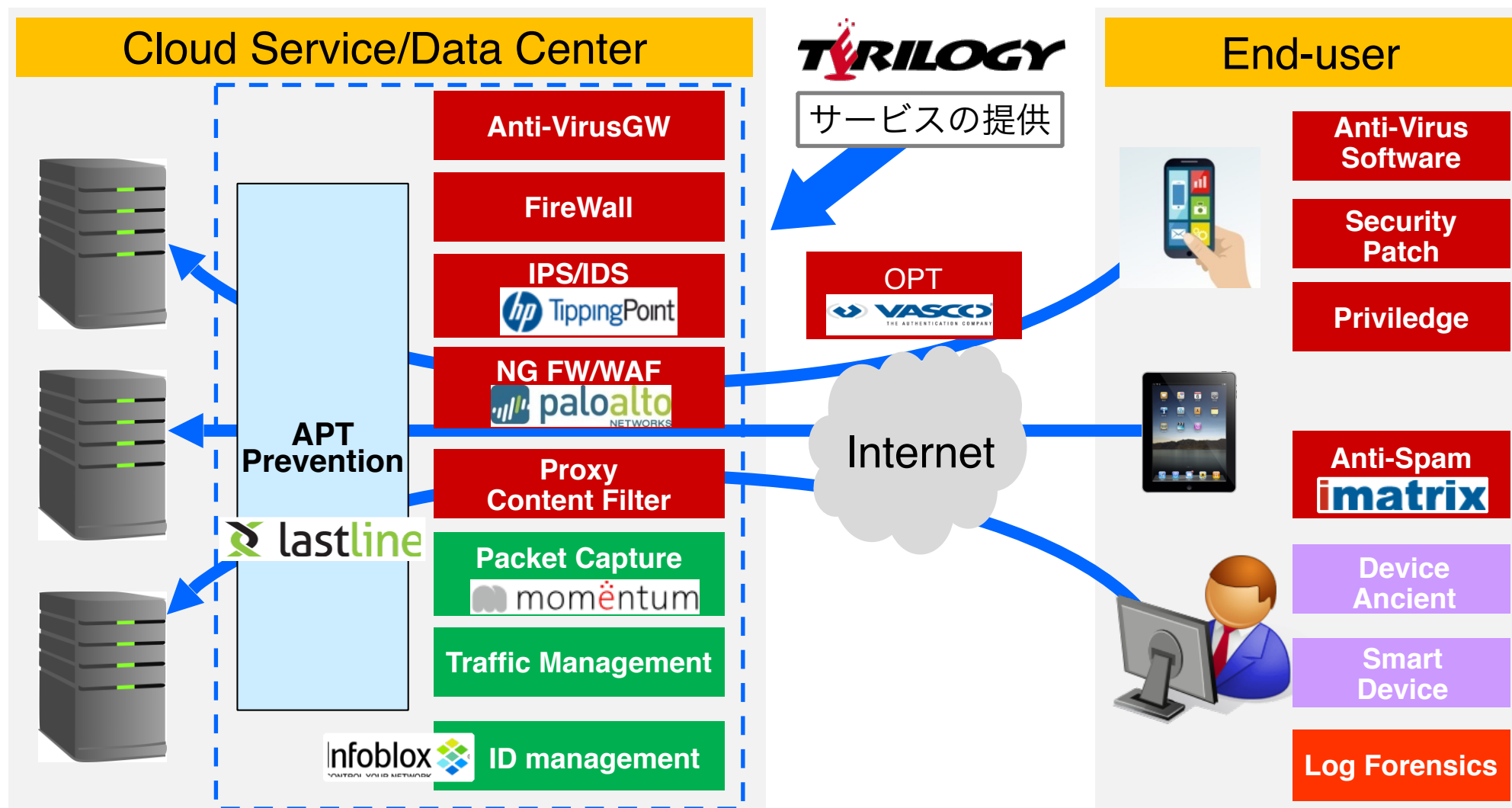
自社製品をコアとした他社製品とのプロダクトミックス

(自社製品の販売強化・市場拡大)



ネットワークGWからエンドポイントまでをカバーする セキュリティマネージドサービス

オンプレミスからクラウドサービスへ



成長著しいアジア市場/グローバル市場への展開 ～momentum販売強化のパートナーリング戦略～

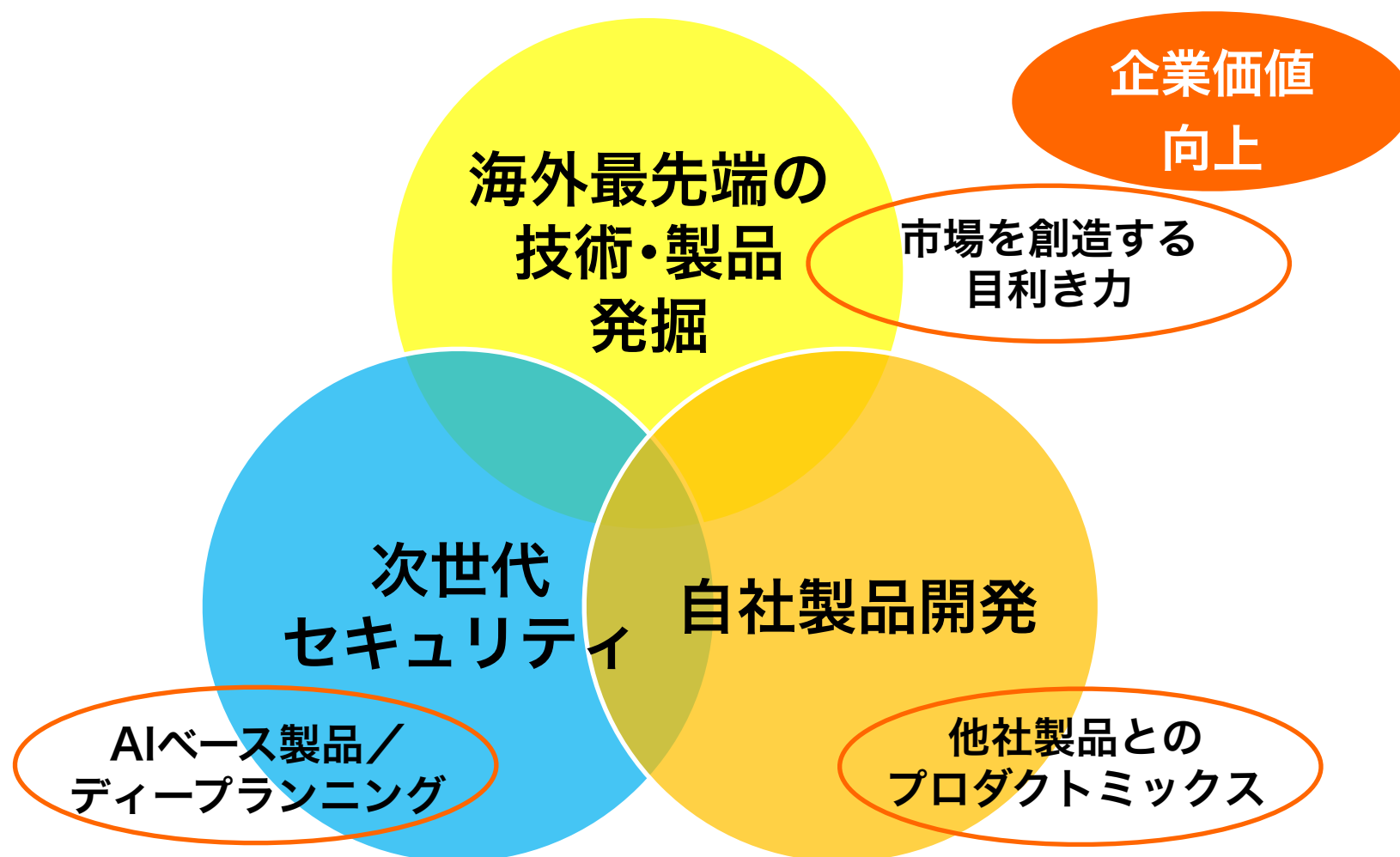
台湾SYSCOM社とmomentumのパートナーリング契約締結



台湾SYSCOM社は、システムインテグレータとして40年以上の歴史があり、社員数も全世界で1500名の企業です。

オフィスは台湾以外に、中国に5か所、東南アジア、日本、イタリア、そしてシリコンバレーに拠点があります。

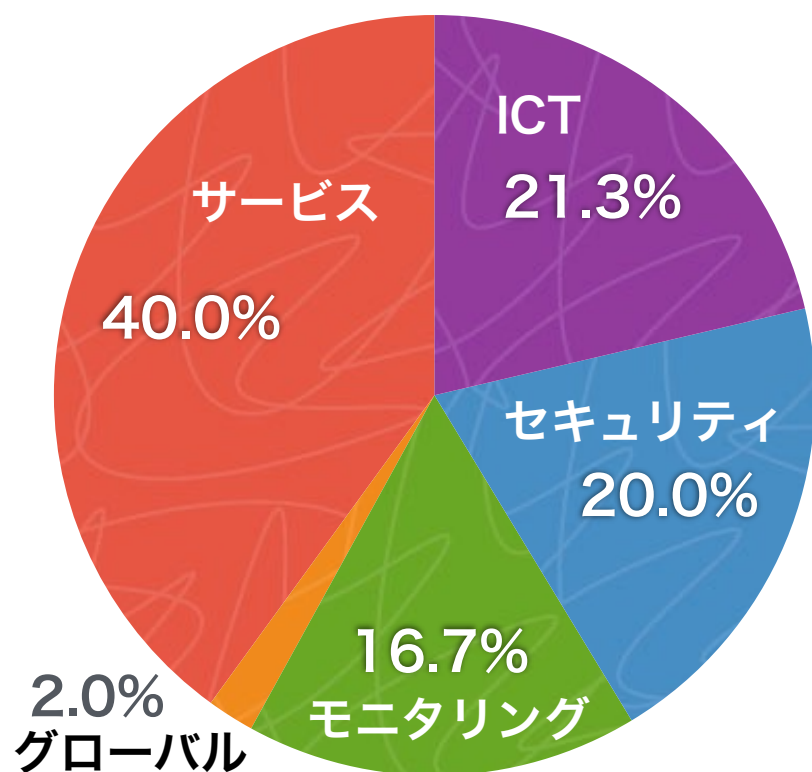
M&A戦略による事業の拡大



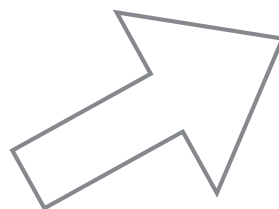
3年後の目標値を達成するうえで積極投資の必要性

3年後に売上高50億円を目指す

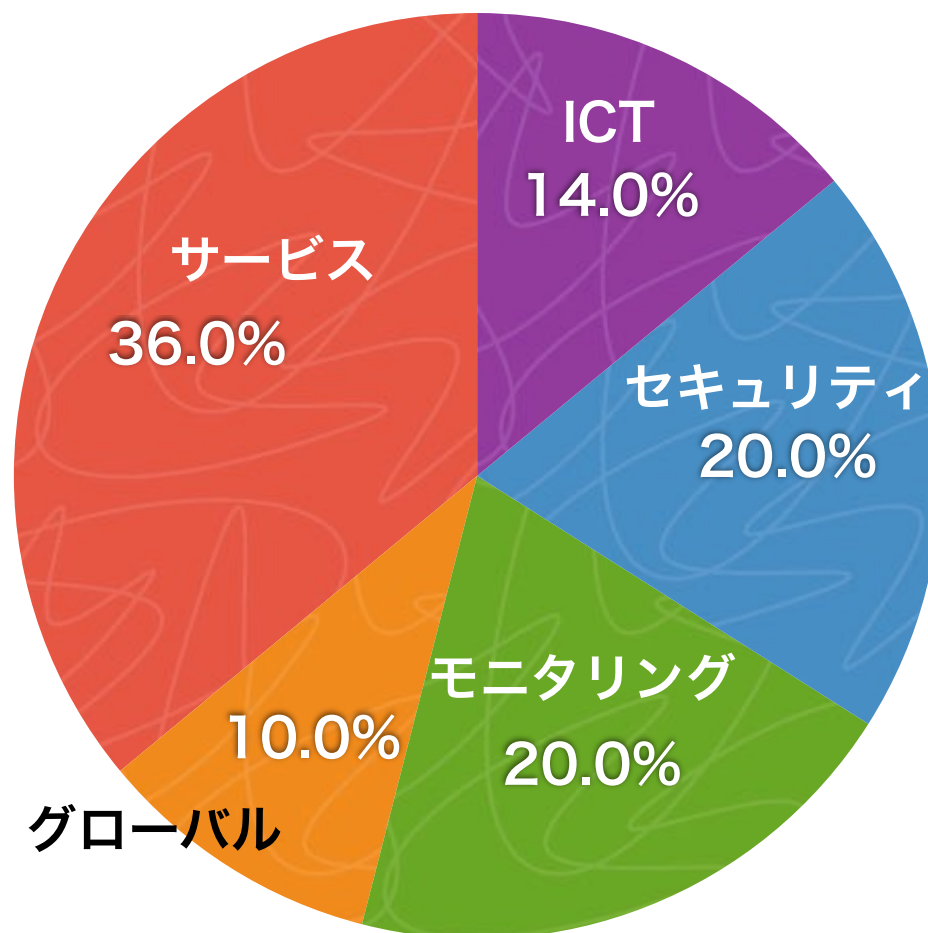
売上高
30億円



2017年3月期



売上高
50億円



2019年3月期



今期の見込み

売上高50億円/復配の実現に向けて

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	増減額 (前期比)	増減率 (%) (前期比)
売上高	2,639	 3,000	360	13.7%
売上総利益	748	 890	142	19.0%
売上総利益率	28.4%	 29.7%		
販売管理費	721	820	98	13.7%
営業利益	26	 70	43	165.1%
経常利益	△0	 50	50	—
当期純利益	△19	 45	64	—
為替レート (ドル)	120.78円	115.0円		
一株あたり当期純利益	△1円25銭	2円93銭		



【お問い合わせ】

管理部 広報宣伝・IR担当 齋藤

TEL:03-5213-5533 FAX:03-5213-5532

E-mail : ir@terilogy.com

株式会社テリロジー

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。